

ストリートから東京の今を伝える情報サイト

 **STYLE-arena.JP**

2015-16 Winter

2015-16 年冬のストリートスタイル総括レポート

TOKYO STREET STYLE 2015-16 WINTER

www.style-arena.jp



一般財団法人 日本ファッション協会

2015-16年冬のストリートスタイル総括レポート

ノームコアでシンプルさを極めた感のあるストリートでは、素材やシルエットで差を出す人たちが目立った。中でも脱力系の人気で、テロンチと呼ばれる落ち感のある素材によるトレンチコートやスカジャン、MA-1 など、レーヨンやナイロン、サテン、テンセルといった、いわゆるテロテロ素材が久しぶりに活躍している。ボトムスもガウチョパンツから発展したワイドパンツ系が増え、いずれもドレープ性に優れたやわらか素材の人气が高まってきた。

また、そうした素材は薄手のものが多いためか、アウター同士の重ね着もトレンドとなっている。さらに、豪華素材のヴィンテージまたはヴィンテージライクなアイテムやトラッド系のアイテムとファストファッションを組み合わせたり、キャミソールをアウターとして着るなど、既成のコーディネートにとられない新しい着こなしも増えている。ムートンなど久しぶりに見るアイテムも新鮮だ。

CONTENTS

地域別ファッションの特徴	3
ステンカラーコート <i>soutien Collar Coat</i>	4
キャミソール <i>camisole</i>	6
スカジャン <i>Yokosuka-Jumper</i>	8
ファー <i>Fur</i>	10
ムートン <i>Mouton</i>	12
アウター・オン・アウター <i>Outer on Outer</i>	14
アースカラー <i>Earth Color</i>	16
コンパクトバッグ <i>Compact Bag</i>	18

TOKYO STREET STYLE 2015-16 WINTER

地域別ファッションの特徴

東京のストリートファッションを観察し発信している web サイト「style arena.jp」。原宿、渋谷、表参道、代官山、銀座という、テイストが異なった5つのエリアのストリートスタイルを掲載し、リアルなファッションの動きや流れを伝えている。

現在は以前とは違い、地域別ファッションの特異性というものは薄まりつつある。それでもまだ地域毎に根付いているファッションスタイルがあり、“違い”を感じる事ができるのも事実。このレポートではその違いについてもお伝えできればと思っている。

原宿

セオリーを無視したバランス感覚。

バランスや感覚に優れた若者が多く、モード、カジュアル、トラッドなどのスタイルを融合した、いい意味でセオリーを無視したスタイルを生み出している。また、原宿は東京で一番古着屋が集まっている街。ほとんどの人が古着を取り入れ、個性的なファッションが見られる。



渋谷

この街を見れば、日本の女性の“今”が分かる。

流行の移り変わりが最も激しい街。流行のブランドに集中した結果、似たようなファッションスタイルをよく見る事が多い。“流行はあるが個性がない”のが渋谷。しかし常に新しい物を求め、敏感に探し、纏っているのが渋谷だ。この街を見れば、日本の女性の“今”が見えてくる。



表参道

スマートでモードな洗練スタイル。

ハイブランドの路面店が並ぶ表参道では、集う人々のスタイルは特に洗練されている。基本はモノトーンを基調にしたスマートでモードなファッションで、小物使いがうまいのも特徴。無駄な物は付けず、コーディネートが足し引きの感覚が優れている。高級な物もそうでない物も、等身大で飾らずにスタイリングできるセンスを持ったエリアだ。



代官山

流行に流されない個性派が集う街。

雑貨屋や古着屋で買ったノーブランド服や小物を身につけている人が多い。また、人と同じファッションを嫌う人も多く、流行に流されにくい。特定のショップやブランドにも強い拘りを持たず様々なショップをまわって同じブランドが重ならない。原宿とは違う個性がある魅力ある街だ。



銀座

ラフさと高級さが同居した上品スタイル

全体的には年齢層が若干高め、上品で落ち着いた雰囲気を持った人が多い。ラグジュアリーブランドのバッグや時計を身につけている人も多いが、それでも全身を高級品で固めている人は少ない。ファストファッションのブランドをMIXして決して嫌らしくならず、ラフさと高級さを同居したスタイルに仕上げている。



ステンカラー *soutien Collar Coat*



ステンカラーコートに“支えられる”日々

今季、様々なアウターを見掛ける中で、ストリートを席卷しているアイテムが「ステンカラーコート」。王道のトレンチや一昨年からブームとなったチェスターを押しつけてこのコートが注目された理由は、昨年からのトレンド継続中の「ノームコアスタイル」をするのに最適だからだろう。

ノームコアを意識したコーディネートで大切なのは「シンプル」さと「こなれ感」を出すこと。そのスタイルに欠かせない冬コートがシンプル代表とも言える ステンカラーコート。メンズ・レディースともにミニマルさを求める流れや勢いは今後しばらく続くだろう。

“2強”を出し抜いて人気が急浮上したステンカラーコート。間違いなく今季 No.1 アウターだ。





キャミソール *camisole*



新たなレイヤードが誕生

今季印象的なのが「タートルニット×キャミソール」のレイヤードスタイル。キャミソールといってもストリートで多く見られたのは、なんと“ランジェリー”。ランジェリーとタートルニットという、一見ミスマッチにも思えるアイテムを、敢えて合わせるのがトレンドになった。これは海外コレクションでも注目されたスタイルで、今の東京ストリートでも、原宿を中心に注目度は高い。

支持された理由は、サテン地やレースといった可愛らしさが女心をくすぐるから。首まで覆われるタートルニットが、ランジェリーキャミを合わせることで、程よく“抜け感”を出せるのが魅力だ。女感が出るアイテムだが、ニットとのレイヤードによってセクシーさが抑えられる。

ストリートでは下半身をワイドパンツとスニーカーでカジュアルにまとめている人が多く見られた。このようにアイテムの足し引きをすることが、「タートルニット×ランジェリー」のレイヤードを完成させるのに重要だ。



スカジャン Yokosuka-Jumper



ノームコアに終止符!?今はスカジャンが熱い!

これから春に向けて最も注目されているアウターがスカジャン。

このスカジャンの一番のポイントは大きく施されている和柄の刺繍。第二次世界大戦後間もない頃、横須賀米軍基地で日本駐留のアメリカ軍兵士達が自分のジャケットに和柄の刺繍を入れてもらったのが始まりだという。一般的に虎や龍、鷹などの刺繍が施されているインパクトの強いアイテムなため、他はシンプルに統一するのがベター。ストリートでも、インナーやボトムは無地のアイテムに合わせる人がほとんどだ。

スカジャンで注目されたショップが渋谷にある古着屋「NUDE TRUMP」だ。派手で煌びやかなアイテムを多く揃えているこのショップは、スカジャンの品揃えもパーフェクト。手が届くリーズナブルな値段設定なのも嬉しい。甘めブランドからはパステルカラーで無地や花柄のものも出ているため、着こなしに合わせて選べる。

ノームコアに終止符を告げるかのごとく、突如現れたスカジャン。アウターをこのアイテムにチェンジするだけで一気にこなれ感が出るのがヒットの理由だろう。





ファー *Fur*

70's ファッションの象徴

寒さが厳しくなる冬のコーディネートに要となったのがファーアイテム。今季のファーアイテムは'70年代ファッションに大きな影響を受けて、ラグジュアリーでリユクスなデザインのものが多い。そこで、今季注目のファーアイテムとしてあげられるのが、コート、シューズ、ハットの3点だ。

まず、注目度ナンバーワンなのが「ファーコート」。ボリューム感と暖かさを兼ね備えたフェイクファーコートや、ボアコートが急浮上したのが今季の特徴。また、着てみると何にでも合わせやすいという意外な一面もあってか、カジュアルなコーディネートの人から、モードなコーディネートの人まで、人気アイテムとして支持されている。

続いて、昨年の夏頃からレディースの必須アイテムとなるほど大流行した「ファーシューズ」。夏にファーをあしらったサンダルが各ブランドから発売されて以来、この秋冬もファーをあしらったサボやパンプスが活躍している。

最後に、ストリートで根強く支持されているのがファー帽。今年は特に、70年代を意識したボリュームでふわふわのロシアン帽がトレンド。暖かいのはもちろん、小顔効果もある為、女子の強い味方となっている。今年はKBFなど、カジュアルブランドから、ボアをあしらったキャップが発売されていて、今までありそうでなかった、ボアとキャップのコラボが人気を博した。





ムートン *Mouton*



真冬のオシャレ事情

寒さが厳しいこの季節、防寒重視で存分にオシャレを楽しめないという悩みをすんなりと解決してくれたのが“ムートン”だ。とにかく温かいこと間違いないこのアウターに、女子からのラブコールが集中した。

昨年辺りからじわじわと人気を集めてきたムートンアウター。以前は「キャメル」が主流となっていたが、今季は「ブラック」メインに人気集中しているようだ。「ブラック派」は渋谷に多く見られ、モコモコとした愛嬌のあるこのアウターを辛口に着こなすのが流行りの様子。キャメル派もブラック派も共通して言えるのが、他のアイテムをダーク色でまとめている点。どうやら今季のストリートはとことん辛口がしっくりきているらしい。更にハットスタイルでマニッシュに着こなしている人がいたのも印象的。





アウター on アウター *Outer on Outer*



アウターテクを UP DATE !

昨シーズン、機能系アウターとしてトレンドに躍り出た「インナーダウン」。インナーダウンが定着したことによって、アウター同士をレイヤードすることに抵抗がなくなり、コートの下にジージャンなどの軽めのアウターを着るといった斬新な発想も、すっかり定番になった。目が離せないアウター・オン・アウターのスタイルだが、今シーズンも進化し続けており、ストリートでは、寒くても2枚のアウターで防寒しつつ、オシャレを楽しんでいた。

1枚目のライトなアウターとして人気なのは、昨シーズンから引き続き、やはり「ジージャン」や「ジャケット」、「ブルゾン」のボリュームがおさえられるタイプ。昨シーズンなら、その上に2枚目のアウターとして「トレンチコート」や「チェスターコート」など、定番のアイテムをレイヤードしていた。この定番アイテム×定番アイテムのシンプルなコーディネートは、オーバーサイズが定着し、ノームコアの風潮が強かった昨シーズンの代名詞といえる。しかし今シーズンは、2枚目のアウターの素材で遊びを効かせているコーディネートが多い。特に、今シーズン流行した「ファーコート」や「ムートンコート」がアウター・オン・アウターの最先端アイテムになっている。もともとボリューム感が売りのアイテムな為、意外にアウター・オン・アウターと相性が良い。昨シーズンより個性的な'70年代風のアウターを上手くレイヤードさせたコーデが今シーズン流。





アースカラー *Earth Color*

帰ってきたオトナイロ

2015年秋、突如街にアースカラーが躍り出た。この冬のトレンドカラーとして1番にあがるのが、このアースカラー。

今季このアースカラーが頭角を現したのは、'70年代のファッションがリバイバルしていることに関係している。ミリタリーファッションの流行と、自然回帰の傾向だった'70年代後半に、アースカラーと同じようなナチュラルカラーが流行していた。

ストリートでのアースカラーを使ったコーディネートを観察すると、ダントツ人気なのがニットやロングカーディガン。アースカラーが使いやすい色味だけに、1つ持っていればコーディネートの幅が広がる。また、オールインワンやセットアップだけでなく、ニットやコーデュロイ、シフォン素材など、色々な素材のアイテムを交えてワントーンのアースカラースタイルを組み、着こなしている人も多い。

さらに、コートやインナーダウンでも人気なのがアースカラー。自然で落ち着いたカラーなため、様々な色と合わせやすく、カジュアルになのに、上品な女性らしさを演出してくれるところが人気の理由だ。

ネイルでもアースカラーを楽しんでいる人が多く、単色のネイルはもちろん、パールやワンポイントや、今季流行りのノスタルジック柄との相性も良い。





コンパクトバッグ *Compact Bag*



両手を自由にできるマストなバッグ

昨年からトレンドの“小さめバッグ”。現在ではすっかり市民権を得たクラッチバッグもその流行を加速させたアイテムの一つだが、ファッションに合わせて使い分けしやすいのが「ショルダーバッグ」。両手が空き、利便性も高い為、有能アイテムとして女性には欠かせない定番バッグとなった。

ショルダーバッグのコンパクトなサイズ感とラフなイメージが現在のトレンドスタイルにフィットしているのも見逃せない。例えば今年流行のワイドパンツなどのオーバーサイズなアイテムを取り入れたコーディネートとは非常に相性がよく、バッグが全体を引き締める役割を果たしてくれる。また、渋谷、表参道ストリートを観察していると、レトロ感あるヴィンテージ物や、個性的なフリンジやファーをあしらった物、ワンポイントにできる鮮やかなカラーの物など、実にバリエーションは豊富だ。





● 「style-arena」 アンケート結果から

「style-arena」秋シーズン（12月～2月）における掲載モデル一人一人にお答えいただいたアンケート結果の一部をご紹介します。

Q. 毎月どれくらいファッションにお金を使いますか？

渋谷・銀座の男性は数が少なく省略／銀座では未調査

- 原宿／女性 : 22,700円（37名平均／最高金額80,000円 以下同）
原宿／男性 : 40,000円（6名／100,000円）
- 渋谷／女性 : 28,900円（53名／100,000円）
- 表参道／女性 : 38,400円（25名／100,000円）
表参道／男性 : 48,900円（14名／100,000円）
- 代官山／女性 : 31,600円（22名／100,000円）
代官山／男性 : 28,750円（4名／50,000円）
- 銀座／女性 :

Q. 好きなブランドは？／回答数が多い順のTOP3（末尾は全回答数）

- 原宿／女性 : ①「TOKYO BOPPER」②「Vivienne Westwood」（以下分散／75）
原宿／男性 : 複数回答なし（10）
- 渋谷／女性 : ①「ZARA」②「EMODA」③「moussy」（94）
- 表参道／女性 : ①「TOGA」②「COMME des GARÇONS」③「ACNE STUDIOS」・「CELINE」（60）
表参道／男性 : ①「Maison Martin Margiela」・「NEEDLES」（以下分散／28）
- 代官山／女性 : ①「TOGA」②「KBF」（以下分散／82）
代官山／男性 : ①「ACNE STUDIOS」（以下分散／14）
- 銀座／女性 : ①「ZARA」②「CHANEL」・「FRAY.D」（91）

Q. よく行くショップは？／回答数が多い順のTOP3

- 原宿／女性 : ①「Santa Monica」②「CHICAGO」③「WALL」（80）
原宿／男性 : 複数回答なし（12）
- 渋谷／女性 : ①「moussy」②「EMODA」・「ZARA」（90）
- 表参道／女性 : ①「ZARA」②「OPENING CEREMONY」（以下分散／63）
表参道／男性 : ①「JOHN LAWRENCE SULLIVAN」・「LEMONTEA」・「TOMORROWLAND」・「UNITED ARROWS」（29）
- 代官山／女性 : ①「KBF」・「OPENING CEREMONY」（以下分散／74）
代官山／男性 : 複数回答なし（13）
- 銀座／女性 : ①「ZARA」②「H&M」・「SHIPS」・「snidel」・「UNIQLO」（103）

TOKYO STREET STYLE 2015-16 winter

●東京のストリートファッションを紹介する、一般財団法人日本ファッション協会のファッションサイト「style-arena.jp」(<http://www.style-arena.jp/>)は、若者のファッションを牽引する「渋谷」「原宿」「表参道」「代官山」の4地点に、「銀座」を加え、2002年から“東京のストリートファッション”を世界に向け発信し続けてきました。現在、「style-arena.jp」は毎月500万ページビューのアクセスがあり、その半分強は海外からの訪問者となっています。

本編は、この「style-arena.jp」から、2015-16年冬（12月～2月）に掲載されているスタイルを分析し、トレンドをまとめたレポートです。

個別の詳細は「style-arena.jp」(<http://www.style-arena.jp/>)にて閲覧ください。

TOKYO STREET STYLE 2015-16 winter

2016年5月発行

■ 解説 企画事業部 情報発信事業
ディレクター 嶋田 有樹

■ 発行 一般財団法人 日本ファッション協会
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-5-1 神保町須賀ビル 7F
TEL. 03-3295-1311 FAX. 03-3295-3295 E-mail info@japanfashion.or.jp